

2026
8.10(月)

19:00 開演
(18:30 開場)

《旧第四銀行で聴く古楽コンサートシリーズ》その17

ヴィオラ・ダ・ガンバの響きを楽しむ ～イングランドとバッハ～

高田まちかど交流館(旧第四銀行 高田支店)

《会場所在地》新潟県上越市本町3-3-2



天井が高い旧第四銀行は、
古楽器の音色が活きる響きのよい空間です。
ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者3人のグループ
「プリズム」による豊かな響きを
たっぷりご堪能ください。

前売3500円 / 当日4000円 / 学生2500円

＊60席＊全自由席＊ご予約はお早めに！

プログラム

J.S. バッハ 「平均律クラヴィーア曲集」より
BWV 870、847、853、890

W. バード 3声のミサより キリエ、グローリア、アニュス・デイ
グラドゥアリア第1巻より「主の御使いは天より降り」

W. コーニッシュ 「ああ、ロビン」 ほか

ヴィオラ・ダ・ガンバは、6本あるいは7本の弦とフレットを持ち、その胴体は薄い板で作られているために、そこから生み出される共鳴の豊かな深い響きが最大の魅力と言えます。そのヴィオラ・ダ・ガンバが複数集まって演奏する、いわゆるガンバ・コンソート(ヴァイオリン・コンソート)では、それぞれのガンバの響きが増幅しあって異次元的な音響空間が作り出され、非日常的感觉を体験することができるでしょう。

このガンバ・コンソートが最も盛んであったルネッサンス期のイングランドの音楽と共に、お馴染みのJ.S. バッハの作品を演奏いたします。ガンバの独特な響きの世界をお楽しみください。
櫻井 茂

■主催・前売予約・問合せ / PAK = TEL.090-3573-8731 (川合)
<https://sites.google.com/view/pak-dai4>

PRISM consort of viols プリズム コンソート オブ ヴァイオルズ



ヴィオラ・ダ・ガンバの深く豊かな響きと、生き生きとした表現を追求する三人のアンサンブル《PRISM consort of viols》。ウィリアム・バードからヘンリー・パーセルに至る17世紀イングランドのヴィオラ・ダ・ガンバコンソート音楽を中心に、様々な様式のガンバのための音楽に取り組んでいる。2017年8月の結成以来国内外で演奏会、レクチャーコンサート、ワークショップ等を開催。エマ・カークビー、曽根麻矢子等、ゲストとも共演。

<https://prism-consort.jimdofree.com/>

櫻井 茂 学習院大学文学部心理学科、東京藝術大学卒業。コントラバスを笠原勝二、吉川英幸、西田直文、江口朝彦、ヴィオラ・ダ・ガンバを大橋敏成、L.ドレフュスの各氏に師事。また藝大バッハ・カンタータ・クラブにおいて小林道夫氏の薫陶を受ける。'80年代より「コレギウム・アルジェントム」を主宰し演奏活動を始め、独奏者として国内外で活動。ドレフュス主宰のコンソート「PHANTASM」の1994年創設プロジェクトに参加以来度々客演。ヴィオローネ奏者としてバッハ・コレギウム・ジャパンをはじめ多くの古楽合奏団に参加。東京藝術大学、高知大学、慶応義塾大学非常勤講師、上野学園大学准教授を歴任。

折口 未桜 上野学園大学短期大学部コントラバス専門を卒業後、同大学ヴィオラ・ダ・ガンバ専門3年次へ編入、2015年卒業。コントラバスとヴィオラ・ダ・ガンバを櫻井茂氏に師事。Ph. ピエルロ、J. チータム、K. ブック、W. ファン・ハウヴェ各氏のマスタークラスを受講。ソロリサイタルを積極的に行う一方で、様々なアンサンブルと共演、通奏低音奏者としても数多くの演奏会、録音に参加。2015～2017年上野学園中学校においてヴィオラ・ダ・ガンバのアンサンブルクラスを指導。

清水 愛架 4歳からピアノを始め上野学園中学・高等学校においてピアノを浅香郁子、干野宜大の各氏に師事。一方ヴィオラ・ダ・ガンバを櫻井茂氏に師事し、高校2年からヴィオラ・ダ・ガンバ専門に転科、2020年に上野学園大学を卒業。チェンバロを曾根麻矢子、戸崎廣乃の各氏に、また通奏低音を戸崎廣乃氏に師事。在学中より上野学園古楽研究室主催の様々な演奏会に出演する他、上村かおり、平尾雅子、J. チータム、M. ファン・デル・フェルデン各氏のマスタークラスを受講。近年は PRISM consort of viols での活動を中心に、様々なサイズのヴィオラ・ダ・ガンバを用いて積極的に演奏している。

当日会場では、演奏者CDの販売を行いません。こちらもお楽しみに！